

## 成果の説明書

(氏名) 鈴木 陽子	(学部) 地域政策学部
<p>(1)教育活動</p> <p>1 演習Ⅱは卒論完成に向けた指導を中心とした。学生に地域政策学会の学生懸賞論文大会に応募することを勧め、昨年度に引き続き1名が奨励論文賞を受賞することができた</p> <p>2 演習Ⅰは前期でグループごとの判例研究・テーマ研究を行い、報告を行わせた。後期では個別に興味をもったテーマを選び、①どのようなテーマであるのか、②関連する判例、③先行研究についてそれぞれ報告を行わせた。</p> <p>3 基礎ゼミでは、判例研究として実際の判例を取り上げて弁護人や検察・判事に分かれて簡易な模擬法廷を行った。判例をより深く理解することそして実態的な視点から権利・義務を考える機会とした。</p> <p>4 大学院博士前期課程の院生の修士論文を指導し、修了させることができた。</p>	
<p>(2)研究活動</p> <p>【学会活動等】</p> <p>1 憲法学会理事(2023年10月～)</p> <p>【論文等】</p> <p>1 憲法学会『憲法研究』55号に論文「立法事実の役割と違憲審査基準—経済的自由に対する規制の違憲審査における立法事実」が掲載された。</p> <p>2 東洋大学『東洋法学』第67巻第3号に論文「家族法における立法事実の変遷と憲法判断」が掲載された。</p> <p>3 高崎経済大学『地域政策研究』第26巻第4号に論文「同性婚地裁判決における立法事実の評価」が掲載された。</p> <p>【その他】</p> <p>学会誌の論文査読(1本)</p>	
<p>(3)社会貢献</p> <p>1 群馬県生活衛生適正化審議会 会長(2023年7月～)</p>	
<p>2 その他の事項</p> <p>1 地域政策学科長として、学科会議の開催やリレー講義の教員配置や運営の業務をおこなった。</p> <p>2 実習運営委員長としてインターンシップの事前・事後ガイダンスの実施から単位の認定までの教務関連事項に関する業務をおこなった。</p>	
<p>3 次年度以降の計画・抱負</p> <p>講義内容の見直しを少しずつすすめ、より学修効果の高いものとしたい。</p> <p>演習については、問題意識や問いを研究につなげていく指導方法を実践していきたい。</p> <p>憲法判断における立法事実変遷について、特に立法府の裁量に対する統制の広狭と関連させ、立法事実変遷による合憲性判断の特徴を見出すことを試みる。</p> <p>婚姻制度の憲法判断で「国民の意識」の変化が問題とされている。この「国民の意識」の変遷と憲法解釈の関連性の有無について研究を行いたい。</p>	